



すずしろ 22

2025 3月報

No.231

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵みの象徴 22世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

2025年2月の援農報告

春は三寒四温といいますね。暖かい日が続いていよいよ春！と思っていたら、冷たい雨が降ってまた冬に戻ったような日もあります。体調を崩さないようお気をつけください。

2025年は1月に続き2月も援農時間が昨年より増えました。新会員の方が多く入ってくださっています。1月は2人、2月4人、3月もすでに4人の入会がありました。これから苗植えなど外作業が忙しくなってきます。まだ気温が高くないからと油断をしないで、各自でも水分補給や休憩を取るなどして健康管理、安全管理をよろしくお願いします。
(援農担当／若林)

	協力農家数(軒)	参加者数 (人)	参加延べ 人数(人)	援農時間(h)	累計援農 時間(h)
2025年2月	25	67	487	1,718	3,303
2024年2月	21	61	469	1,664	3,237
増/減	4	6	18	54	66

イベントのお知らせ！

春はみんなで一緒に竹の子掘り！

ご家族で、お仲間で、春の「旬の味」を楽しんでみませんか？
お誘いあわせの上、ふるってご参加ください。



日 付：4/12(土)・13(日)・19(土)・26(土)・27(日)・29(火祝)・5/3(土)

場 所：常盤牧場（寺田町 大恩寺向い）

時 間：8時～10時 10時～12時 どちらかの時間帯 駐車🚗台数制限あり

参加費：すずしろ22会員 無料

非会員・小中学生100円（保険代） 未就学児は無料

持ち物：つるはしやスコップ(有れば)、竹の子を入れる袋、飲み物、汚れても良い服装

雨天☔中止

問合せ・申込先：飛田恵美子 ✉:emiko_tobita@ybb.ne.jp ☎:070-4449-2641

※竹の子の出具合で日にちが変更になる場合があります。

※つるはしはグループで1本お貸しできます。

1kg 400円で
買い取りになります

イベントのお知らせ！ つづき

梅イベント

昨年ご好評をいただいた梅イベントを、今年も開催予定です！
現在、詳細を調整中ですが、決まり次第お知らせいたします。春の訪れを感じながら、美しい梅のイベントを楽しむひとときをぜひご期待ください。続報をお待ちください！



援農体験記 右近佐知子

入会手続きから間もなく一年になります。

自身が畑で野菜を育てたい、農業をまもらなければ、日本の国に明るい未来はない、との思いが高まっていたときに、みそ作りなどで親しくなっていた嘉藤さんから声をかけていただき、先ずはやってみることに。実際月に2回から4回程度で戦力にはなれませんが、ハウスでの苗の支柱たてや、ノコギリ鎌を使っての大根畑の雑草刈り、そら豆の枝の剪定、収穫まで、また野菜を洗ったり、袋に詰めたり、出荷の準備、シイタケの菌打ちなど、さまざま体験させていただき、初めてのことばかりで楽しい一年でした。市内の農家さんとの爽やかなつながりができ、お野菜をいただくことも増えたので、あまり買い物に行かなくなりました。いただいたものを工夫して、ありがたく料理するようになり、レパートリーも増えた気がします。2年目に入るので、もう少しお役に立てればと思っています。どうぞよろしくお願いします。



＋『万が一の時は...』

皆さま、日々の援農ありがとうございます。
日頃色んな注意を払って活動していただき感謝しております。

おかげさまで昨年度は傷害保険の対象事例はゼロでした。しかし、いつどんなときに怪我などのアクシデントが起きるかわかりませんね。

家を出てから帰るまでが傷害保険の対象です。もし、事故や怪我などが発生したときは、援農窓口が理事にご連絡ください。

これから植え付けなどの作業も多くなると思いますので、引き続き無理の無い援農をお願い致します。

(事務局長／嘉藤)



年中行事と食べもの

～『春分の日』と『ふきのとう』～

春分は二十四節気の一つで、春の中間に当たります。農業の時期を正確に見極めるために二十四節気生まれ、春分は農作業を本格的に始める目安とされています。現代でも暮らしの知恵として受け継がれ、豊作を祈願する大切な日です。

春の訪れを告げるように、「ふきのとう」が雪解けの土から顔を出していますね。冷たい風の中にもほんのりと温もりを感じるこの季節、淡い緑の芽が春の息吹をそっと囁いているようです。ふきのとうは、「若返りのビタミン」とも呼ばれ老化防止に働くビタミンE、骨や歯を形成するのに役立つカルシウム、ビタミンK、マグネシウム、鉄、葉酸やカリウムなど、さまざまな効果が期待できます。(山本)

